

議会だより

議員定数条例を可決、 定数を4人削減、22人に



第2回定例会閉会日議場内における審査の様子

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～3
- ★主な議案質疑……………P 3～4
- ★第2回定例会の日程……………P 4
- ★請願の審査結果……………P 4
- ★永年勤続表彰……………P 4
- ★旭市選挙管理委員会委員の選挙 ……P 4
- ★第1回臨時会……………P 5
- ★議会のうごき……………P 5
- ★一般質問……………P 6～9
- ★常任委員会の審査……………P 9～10
- ★行政視察報告……………P 11～12

第2回定例会の あらまし

平成21年第2回定例会が、6月5日から6月22日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会には、条例の一部改正、財産の取得、工事委託契約の締結など8議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

6月10日には一般質問が行われ、5人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の22日には、委員会から議員定数を22人とする条例など3件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

議案の内容 と審査結果

条例の一部改正

◇議案第1号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

特定家庭用機器再商品化法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

◇議案第2号

旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

地域児童の利用実態もなく、地元野中区からの廃止要望もあることから、野中児童遊園を廃止するものです。

◇議案第3号

旭市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

新たに訪問看護ステーションを設置するため所要の改正を行うものです。

◇議案第4号

旭市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

千葉県重度心身障害者（児）医療給付改善事業費補助金交付要綱が改正されることに伴い、経過措置の期限を延長するため所要の改正を行うものです。

財産の取得

◇議案第5号

財産の取得について

(可決)

消防防災設備として災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台を購入する仮契約を締結したので、この契約について議会の議決を求めるものです。

工事委託契約

◇議案第6号

工事委託契約の締結について

(可決)

旭中央汚水ポンプ場等の建設工事を財団法人千葉県下水道公社へ委託するにあたり、議会の議決を求めるものです。

・契約金額 7億7630万円

・契約方法 随意契約

・契約の相手方

千葉県美浜区磯辺八丁目24番1号

財団法人千葉県下水道公社

人事

◇議案第8号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を

求めることについて

(同意)

現委員のうち1名が9月30日をもって任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものであります。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 鈴木 節夫 氏(萬力)

その他の議案

◇議案第7号

指定管理者の指定について

(可決)

現在、旭市福祉作業所の指定管理者である「旭市手をつなぐ育成会」がNPOとしての法人格を取得し、「特定非営利活動法人旭市手をつなぐ育成会」に名称を変更したため、再度、議会の議決を経て、旭市福祉作業所の指定管理者に指定をするものです。

委員会提出議案

◇発議第1号

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について

(可決)

◇発議第2号

国における平成22(2010)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

(可決)

◇発議第3号

旭市議会の議員の定数を定める条例の制定について

(可決)

旭市議会の議員の定数を定める条例

地方自治法（昭和22年法律第67号）第91条第1項の規定により、旭市議会の議員の定数を22人とする。

附 則

(施行期日等)

1 この条例は、平成21年7月1日から施行し、同日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日以後その期日を告示される一般選挙以外の選挙における議員の定数は、従前の例による。

昨年の6月に、議会運営等の見直しを図るため、議会改革検討委員会が設置され、議会改革等について半年間かけて協議をしました。

その中で、議員定数については昨年の12月に24人と報告されましたが、その後、銚子市において、議員定数を26人から21人とするなどの動向が見られ、そのような状況を勘案して、現定数26人から4人減員の22人としたものです。

報告

○報告第1号

平成20年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

○報告第2号

平成20年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について

○報告第3号

平成20年度旭市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

○報告第4号

平成20年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について

○報告第5号

平成20年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について

伊藤 鐵議員

逝去



伊藤鐵議員は家族の看護の甲斐もなく平成21年7月22日午前2時6分急逝されました。
故人は、昭和54年に旧干潟町議会議員選挙に初当選し、平成元年から2年間議長を、1市3町合併後は公営企業常任委員会委員長などの要職をつとめられました。この間、町政並びに市政発展のために大変なご尽力をされました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

○報告第6号

旭市土地開発公社の事業経営状況について

○報告第7号

財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

○報告第8号

専決処分報告について（損害賠償の額の決定）

主な議案質疑

議案第1号

Q 家電リサイクル法の改正により、新たに衣類乾燥機が対象製品となるための条例改正であるが、平成20年度の実施状況から、洗濯機の持ち込みがどの程度あったのか。また、これまで対象とされていなかった衣類乾燥機は、どのくらいの台数を見込んでいるのか。

A 市で受付した洗濯機は64台です。ちなみに冷蔵庫・冷凍庫が102台、テレビが154台、エアコンが8台で、20年度のトータルは328台です。法律改正前は、衣類乾燥機を一般廃棄物として処理していましたので、データはとっておりません。現場に確認し、21年度は10台を見込んでいます。

議案第2号

Q 今回の一部改正については、長禅寺境内にある野中児童遊園を廃止して、条例から削除する内容だが、敷地の

の地代はどのようにしてきたのか。また、敷地内には遊具は設置されていたのか。

A 地代は、長禅寺から無償で貸与をし、利用させていただいていました。遊具は、ブランコ、滑り台、低鉄棒、うんてい、それぞれ1基ずつあり、いずれもさび等が発生し、老朽化が進んでいた状況です。地元から早急に撤去を要望されていましたので、6月4日に撤去をして、現在は更地です。

議案第3号

Q 今回の条例改正は、訪問看護の更なる充実を図るため、飯岡診療所の2階部分に訪問看護ステーション旭ところとくらしのケアセンターを設置するためと説明がありました。訪問看護ステーションでは、具体的にどのようなことを

やるうとしているのか。また、設置する場合の設備維持管理費は。

A 現在、精神科で訪問看護を行っています。移行を進めるために、看護部分を訪問看護ステーションとして分離させ、自立支援の援助を推し進める目的で開設します。具体的には、現在行っている精神科訪問看護の自立支援の強化を図り、利用者が住みなれた地域での生活が可能のように、24時間連絡体制を含め、安心して生活ができるように援助をします。

ケアセンターを設置する場合の設備維持管理費、最初の人員配置と勤務形態ですが、管理者を含む看護師5名と事務員1名で計画しています。また、夜勤はありませんが、常時対応できる24時間連絡体制をとる予定です。

新たにかかる費用としては、訪問車両ほか、パソコン、事務機などの事務用品、介護保険に係る支援ソフト等の費用です。訪問看護は、利用者宅に向き看護サービスを提供しますので、人件費のほかに車両関係費が主であり、大きな費用は発生しないと考えています。車の減価償却を除くと、月間で約30万円程度かかります。

議案第6号

Q 下水道関係の契約については、隨意契約ではなく一般競争入札か、あるいは指名競争入札にできないものか。また、契約金額の算定根拠が当然必要となり、妥当性を追求することが必要であ



訪問看護ステーションが開設される飯岡診療所

るが、旭市としてどのような検討をしてきたか。

A

財団法人千葉県下水道公社と随意契約する理由については、市町村を支援・代行する機関として数多くの工事を手がけており、同公社に工事を委託することにより、工事が速やかに進捗するとともに、工事後もさまざまな技術援助が受けやすくなるものと考えています。

また、下水道施設の建設には、土木・建築・機械・電気等の各分野にわたり専門技術職員を配置する必要がありますが、工事期間が平成21年度から平成23年度の3か年で完了することから、短期間における職員の増員は、効率的な執行体制の上から困難であると考えています。工事が速やかに進捗するとともに、行政改革の観点から、職員の増員が抑えられ、よっ



議長より特別表彰の伝達を受ける神子功議員

第2回定例会の日程

(開会)

6月5日(金)

- ・永年勤続表彰伝達並びに記念品贈呈
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上程
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明及び報告の説明

6月9日(火)

- ・議案の質疑
- ◇追加日程 〈討論・採決〉
- ・常任委員会へ議案・請願を付託

6月10日(水)

- ・市政に関する一般質問

6月15日(月)

- ・公営企業常任委員会

6月16日(火)

- ・建設経済常任委員会

6月17日(水)

- ・文教福祉常任委員会

6月18日(木)

- ・総務常任委員会

6月22日(月)

- ・常任委員長の議案・請願報告
- 〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・発議案の上程
- ・提案理由の説明
- 〈質疑・討論・採決〉
- ・旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- ・事務報告

(閉会)

請願の審査結果

第2回定例会では、請願2件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願	採択
請願第2号	国における平成22(2010)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	採択

旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果について

平成21年6月22日の本会議において選挙を行った結果、次の方が当選人と決定しました。

旭市選挙管理委員会委員当選人

- 常世田清志氏(八)
 - 石毛恒男氏(後草)
 - 石橋清氏(萩園)
 - 飯田博之氏(萬力)
- 旭市選挙管理委員会補充員当選人
- 伊藤新市郎氏(塙)
 - 高安勇氏(口)
 - 宮内正巳氏(後草)
 - 花香勝久氏(萬歳)

永年勤続表彰

平成21年5月27日第85回全国市議会議長の定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに對し、次の8名の方々が表彰されました。おめでとうございます。

て経費縮減が図られることから、千葉県下水道公社に委託するものです。

また、契約金額の積算根拠は、国土交通省が定めた下水道用設計標準歩掛表や、千葉県の積算基準等により設計しており、積算内容の妥当性については職員が確認しております。

下経費縮減が図られることから、千葉県下水道公社に委託するものです。

◎議員在職30年以上特別表彰
神子 功 議員

◎議員在職15年以上表彰
伊藤 鐵 議員(※)

◎議員在職10年以上表彰

林 正一郎 議員(※)
高橋 利彦 議員(※)
向後 和夫 議員(※)
林 一雄 議員
明智 忠直 議員
林 俊介 議員

(※)合併前の町議会議員在職年数は1/2とし、合併後の市議會議員在職年数に加算されております。

第1回臨時会

平成21年第1回臨時会が5月26日に開催されました。

この臨時会には、条例の一部改正、専決処分の承認など7議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認されました。

条例の一部改正

◆議案第1号

旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

◆議案第2号

旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

◆議案第3号

旭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

一般職の職員の平成21年6月期の期末・勤勉手当の改正に合わせて所要の改正を行うものです。

◆議案第4号

旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

人事院の臨時勧告及び千葉県人事委員会臨時勧告の趣旨に基づき、所要の改正を行うものです。

専決処分

◆議案第5号

専決処分の承認について【旭市税条例等の一部を改正する条例】

(承認)

◆議案第6号

専決処分の承認について【旭市都市計画税条例の一部を改正する条例】

(承認)

◆議案第7号

専決処分の承認について【旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】

(承認)

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、専決処分したものです。

主な議案質疑

議案第1号から議案第4号

Q 市議会議員、特別職の職員、一般職の職員の期末手当の一部凍結ということで、それぞれ人数と額は。またトータルでどのくらい不利益になるのか。

A 市議会議員は25人で削減額は17万7000円です。特別職は市長、副市長で削減額は28万6000円です。一般職の職員、教育長を含め770

人、削減額は試算で5251万2000円です。トータルの削減額は5452万5000円です。

Q 5452万5000円は、補正を組んで、一般財源として効果的に利用していくのか。それとも、不利益として有効的に財政調整基金等に組み入れるのか、現在どのように考えているか。

A 補正して減額するか、それとも組み替えてということですが、現在は留保財源になるかと思っています。これからの予算や、国の対策もありますのでそういったところをにらみながら、貴重な財源として活用していこうと考えています。

議会のうごき

平成21年3月2日以降の議会のうごき

〈3月〉

- ・旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- ・大原幽学墓前祭
- ・市内小・中学校卒業式
- ・(旭)旭市シルバー人材センター第19回通常総会
- ・第4回東総地域医療連携協議会
- ・鈴木副市長退任式
- 〈4月〉
- ・増田副市長就任式
- ・長熊スポーツ公園オープン記念式典
- ・第13回袋公園桜まつり
- ・市内小・中学校入学式

- ・旭中央病院附属看護専門学校入学式
- ・平成21年度旭市教職員歓迎式
- ・第169回千葉県市議会議長会定例総会

- ・旭市視覚障害者福祉会・鍼灸マッサージ師会定期総会
- ・旭市老人クラブ連合会第1回パークゴルフ大会開会式
- ・第75回関東市議会議長会定期総会
- ・旭市民生委員児童委員連絡協議会定期総会

〈5月〉

- ・千葉県北総地区市議会正副議長会定例会
- ・旭市遺族会定期総会
- ・第37回全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会
- ・旭市ボランティア連絡協議会第5回総会
- ・第54回千葉県東部五市体育大会
- ・旭市文化協会平成21年度定時総会
- ・平成21年度旭市PTA連絡協議会第1回代議員会
- ・第40回旭市雇用対策協議会定期総会
- ・平成21年度旭市区長会定期総会
- ・飯岡西部工区設立総会
- ・旭市商工会通常総代会
- ・全国市議会議長会第85回定期総会
- ・旭市母子寡婦福祉会総会
- ・山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会通常総会並びに第12回銚子連絡道路整備促進地区大会
- ・旭市消防団ポンプ操法訓練激励会

【第2回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は6月10日に行われ、5人の議員が登壇しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

放課後子どもサポート事業の職員増員は

教 育

Q 職員を増やし、父兄の負担を軽くすることはできないか。

A 本年4月から、中央小学校の4年生から6年生を対象に試行的に実施しています。今後とも保護者等の意見を伺いながら、課題の改善に努力していきたいと考えています。

矢指小の施設整備は

Q 平成21年度公立学校施設整備費が矢指小学校にきていますが、どのような施設を考えているのか。

A 屋外環境として、学校ビオトープなど、自然環境を体験学習できる施設を計画しています。

解説 ビオトープ

環境教育の一環で取り入れられてきた人為的に再生された自然生態系の観察モデル。



中央小学校で試行実施中の放課後子どもサポート事業

ICT環境整備事業を全小中学校で

Q ICT環境整備事業について、市はどのように考えているのか。

A 今回、国の補正事業に基づいて市内小・中学校20校に整備を考えています。地上デジタルテレビ、電子黒板、教育用コンピュータ並びに校内LANを

検討しています。

解説 ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）情報・通信の工学およびその社会的応用分野の技術の総称（情報通信技術）。

中学入学時の補助は

Q 中学入学時、1人に対してかかる費用は中学校5校の平均で幾らか。

A 中学入学時、1人に対してかかる費用は、およそ10万円程度の負担となります。

Q スクールバッグなどの現物支給でも、子育て支援の対策になると思うので、検討していただきたい。

A 中学校入学時の家庭への負担軽減に係る要望として真摯に受け止めてさせていただきます。

新型インフルエンザの国の方針は

保 健

Q 現在の国の方針はどのようになっているのか。

A 強毒性の鳥インフルエンザを想定して新型インフルエンザ対策行動計画を作成しており、感染拡大を可能な限り抑制し健康被害を最小限にとどめる、社会・経済を破綻に至らせないの2点を主たる目的として、発生の段階に応じて対策を講じていくことになっています。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。

◆滑川公英議員

- 1 新型インフルエンザについて
- 2 合併前からの懸案の海上地区排水について

◆伊藤房代議員

- 1 太陽光発電の推進について
- 2 医療・介護の一時金の軽減について
- 3 放課後子どもサポート事業について
- 4 道路の安全について

◆木内欽市議員

- 1 安全なまちづくりについて
- 2 定住自立圏について
- 3 少子化対策について

◆伊藤保議員

- 1 中学入学時の補助について
- 2 リサイクル本の還元について
- 3 矢指小、屋外環境、学習施設について
- 4 クールアース・デーについて

◆神子功議員

- 1 行政改革の推進について
- 2 旭中央病院について

市の対応策は

Q 今までの対応策、市民への周知徹底はどのようになっているのか。
また、小・中学校の対処方法は。

A 発熱症状やインフルエンザ症状のある場合には、まず発熱相談センターに電話で相談し、指示をされた病院等を受診することになっています。
感染予防については、6月1日発行の広報あさひに掲載し、ポスターを本庁及び各支所、保健センターに掲示しています。

小・中学校の対処方法は、季節型インフルエンザと同様、うがい、手洗い等やせきエチケットの励行、人ごみの多い場所への外出の自粛等、感染機会を減らすよう指導してきました。

子どもの医療費無料化は

Q 小学校6年生まで医療費を無料にできないか。

A 乳幼児医療費の助成については、平成20年4月1日から市単独で小学校就学前まで対象者を拡大したところですが、一方、県は5月27日の知事記者会見で、平成22年度に小学生まで拡大したい旨、表明したところですが、具体的な説明等がされておらず、助成については、千葉県及び近隣市町の動向に留意しながら対応していきたいと考えています。

基本理念・基本方針への取り組みは

旭中央病院

Q 旭中央病院の基本理念は、「すべては患者様のために」と掲げ、さらに11から成る病院の基本方針を定めているが、現在、基本理念や基本方針に具体的にどのようなことを行っているのか。

A 基本理念のもと病院運営は、幹部会議、管理運営委員会等を通じて下部に周知していますが、周知できているかということについても、内部監査や外部監査を行い、基本方針が本当に守られているか、確認しています。その結果は、まだまだ努力すべき点があり、満点を取るために努力しています。

経営形態等に関する検討委員会

Q 旭中央病院の経営形態等に関する検討委員会を廃止するということが、その経緯について伺います。

A 平成19年に総務省から、20年度内に改革プランを作成するよう指示があり、また中央病院を生かしたまちづくりなど大きな課題等を解決するために、検討委員会を設置しました。

いろいろな課題の中で検討委員会からは、公設民営という問題も出ましたが、中央病院の内部が混乱しては何も始まらないため、この問題は一たん棚上げし、総務省に改革プランを上げた時点をもつ

て、4月1日に廃止しました。

顧問の報酬は

Q 検討委員会の顧問については1か月60万円、計360万円のお金がかかりました。既に委員会はないため、無駄に使ったと言われても仕方がないと思うが、どのように考えているのか。

A 市長の諮問機関である経営形態等に関する検討委員会で検討を行うため、厚生労働省、総務省の委員等の経験、また医療経済分野での研究者であり、統合ヘルスケアネットワーク等の課題について大変詳しいということで、松山氏が病院の非常勤職員の顧問として雇用されたと認識しています。

金額については、同氏の経験と経歴等から、一概に高いとは言えないのではと考えています。

スクール・ニューデイル構想

環境

Q 市役所の本庁・支所や各小・中学校の屋上へ太陽光パネルを設置すれば、災害時の避難所になったときには自家発電により停電にもならず、水洗トイレや足の不自由な人はエレベーターを使用でき、役に立つのではないか。

A 市では国の経済危機対策に対応して、太陽光発電を本年度、矢指小学校と第一中学校に設置するよう計画し

たいと考えています。

庁舎等、現状の施設に太陽光パネルを設置することは、老朽化した建物にさらに負荷をかけてしまうと考えています。したがって、太陽光発電については、建て替え等により新たな施設を建設する必要が生じた段階において、設計の段階から検討していきたいと考えています。

クールアース・デーの取り組みは

Q クールアース・デーについて、市で、この取り組みができるのか。

A 市役所、支所等を午後8時までに消灯することや、各家庭などでも、できる範囲で消灯や温暖化についての話し合いなどをしてもらいたいと考えています。

解説 スクール・ニューデイル構想

21世紀の学校にふさわしい教育環境の抜本的充実を図ることを目的とし、学校耐震化の早期推進、太陽光発電の導入をはじめとしたエコ改修、ICT環境の整備、エアコンの設置、校庭の芝生化、学校ビオトープの推進等を一体的に推進する構想。

クールアース・デー

環境問題の大切さを国民全体で再確認していくため、7月7日を「クールアース・デー」と定め、施設や事業所、家庭などで一斉に電気を消す「セブライダウン」を呼びかけている。

市立図書館での不要本はどのくらいか

Q 市の図書館で不要となった本は年間どのくらいあるのか。

A 基準を市の図書館資料除籍要綱により定め、利用価値を失った図書として除籍の対象としています。19年度は2481冊、20年度は380冊です。

リサイクル本の還元は

Q 焼却処分、または廃棄処分になっていると思うが、還元はされているのか。

A 毎年1回、秋にリサイクルフェアと題し、除籍となった図書を無料で提供するイベントを市民会館で開催し、図書の有効活用が図れるよう努力しています。

周知が必要では

Q もう少し周知徹底が必要であると思いますが。

A 広報あさひや市のホームページに掲載し、市民会館にもポスターを掲示し、周知しています。今後、できるだけ努力し、防災無線等を使うことも考えています。

安全なまちづくりに 対する補助金は

防 犯

Q 防犯パトロールの方への補助金を出すことを考えては。

A 今の時点では、もう少しボランティアでお願いできればと考えています。

定住自立圏構想の 取り組みは

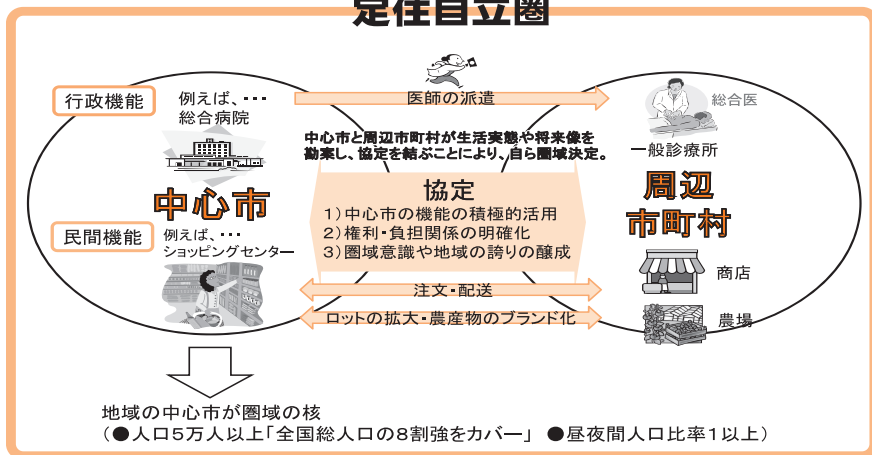
まちづくり

Q 定住自立圏構想について、千葉県では、旭市と館山市が候補地として挙げられました。市はその後、どのように取り組んできたのか。

A 一次補正、また二次補正でいろいろな事業が国から出てきています。今後、県と相談しながら、どれだけ有利なものがあるのか検討し、進めていきたいと考えています。

定住自立圏のイメージ

定住自立圏



※総務省ホームページより抜粋

介護費用の 受領委任払いは

福 祉

Q 福祉用具や住宅改修等の介護費用を償還払い方式から、1割負担の受領委任払い方式にできないか。

A 利用者側は負担軽減が図られ利便性が向上すると考えます。事業者側の福祉用具の購入については、大きな支障はないと考えますが住宅改修については、個人経営の大工さんなど多くの事業者が携わっているため、新たに登録申請や受領委任の事務手続きが必要になります。また、利用者の相談窓口であるケアマネジャー等への周知など、事前準備が必要と考えています。

今後、既に実施している県内の自治体の導入及び運用状況を調査し、検討を進めたいと考えています。

解説 償還払い方式

利用者が費用を全額支払った後で、保険者（市町村）から保険給付分（9割）を払い戻してもらう方式。

受領委任払い方式

利用者が費用の1割相当分のみ支払い、事業者が利用者の代わりに保険給付分（9割）の支払いを受ける方式。

解説 定住自立圏構想
定住自立圏構想では「東京圏への人口流出防止と地方圏への人の流れの創出」「分権型社会にふさわしい社会空間の創出」「ライフステージに応じた多様な選択肢の提供」を目指している。
広域的な合併を行った合併市であって、人口最大の旧市の昼夜間人口比率が1以上のものは、合併1市で定住自立圏を形成することができるとされており、旭市はこの要件に該当。

国の婚活予算への対応は

少子化対策

Q 政府は、今年度の追加経済対策の中に婚活予算を新たに計上し、お見合いイベントを企画するＪＡや自治体に１０００万円を助成する方針を決めました。市の対応を伺います。

A 具体的な内容は、これまで国・県等に問い合わせをしています。まだ要綱等が作成されていないという回答のみですが、今後とも情報収集に努め、積極的な対応を図りたいと考えています。

合併前から懸案の海上地区排水問題は

排水

Q 検討中の案はどのような内容なのか。

A 広原南地区は、冠水箇所が県道のため海匠地域整備センターに整備を要望しています。また、市としても、冠水地区の流末の排水路整備を昨年度より実施しており、整備した排水路を利用した分水についても協議をしています。蛇園南地区は、地元関係者の助言をいただきながら、飯岡西部土地改良事業に絡めて検討しているところです。

今後、地域活力基盤創造交付金が採択されれば、今年度、実施設計を組み、次年度から工事を進めたいと思います。

施設の有効利用は

行政改革

Q 現在、海上支所の状態を見ると、教育委員会を中心とした何かができないかと考えますが、22年度から始まるアクションプランで、総合的な見地からそのようなことも検討していただきたいと思います。

A 海上支所は、1階部分の東側半分の旧1市3町が合併した中で、施設が空いている状況がありますので、総合的に行政改革アクションプランの中で位置づけながら、有効活用するため、ただいまのご意見等も念頭に入れ、検討していきたいと考えています。



空きスペースがある海上支所1階東側

学校給食の民間委託は

Q 学校給食は民間委託すべきではないと考えますがいかがでしょうか。

A すべて学校給食を民間に委託しようという考えはありません。栄養士等の確保や献立は市で行い、調理だけ民間にお願いしたいと考えています。学校給食は、夏休み・冬休み等により、非常に調理員を雇いづらいところです。その点で民間の活力を生かしてもらい、献

常任委員会の審査

公営企業常任委員会

6月15日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第3号旭市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「訪問看護ステーションは、今後、介護保険の指定居宅サービス事業所として認定されるが、他のサービスまで広げる予定はあるのか。また、事務所の設備費等はいくらかかるのか。」との質疑があり、「この訪問看護ステーションは、精神科を中心として、患者が退院後、在宅で安心して生活ができるようにすることを考えているが、今後、訪問看護師の数が増え、看護師とこのサービスを受ける方の家族との人間関係がで

立や材料の仕入れ等に関しては、きちんと市で行おうと考えています。

職員の人材育成の対応は

Q 職員の人材育成について、今後どのように考え、対応していくのか。

A 人材育成基本方針の策定を考えています。現在の取り組みですが、策定の基礎資料とするため、職員アンケートを5月に実施しました。今後、いろいろ分析し、方針を策定します。



公営企業常任委員会の様子



JA千葉みらい農産物直売所「しよいか〜ご」を視察する建設経済常任委員

建設経済常任委員会

6月16日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第6号工事委託契約の締結についての審査では、「旭中央汚水ポンプ場建

車4台分の購入費用として500万円程度、その他、パソコンや洗濯機が必要となるが、数十万円程度の予算で収まると思っている。また、訪問看護ステーションは、飯岡診療所の2階に設置するため、改装は、プレートを貼る程度で対応ができると思っている。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、国民宿舎食彩の宿いっおかの施設状況を視察しました。

文教福祉常任委員会

6月17日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案及び請願2件の審査を行いました。

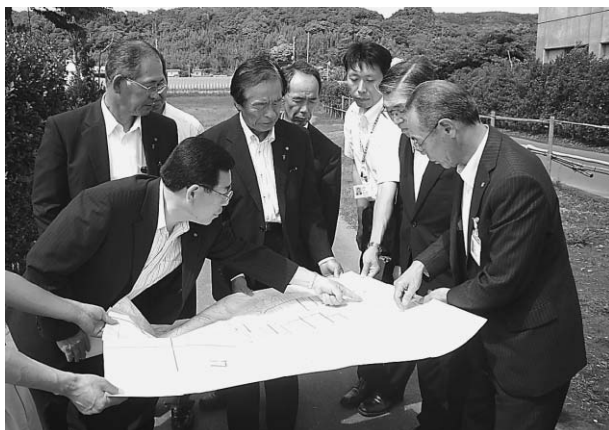
議案第2号旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「平成17年7月から、いろいろな事情により、児童遊園が条例から削除されているが、管理や子どもたちの推移、また、児童遊園という立場を考え合わせ

設は、中央病院のために新しくポンプアップするので、中央病院の完成と同時に使える工程にならないのか。」との質疑があり、「ポンプ場は、平成21年度から3年計画で整備を進めていく予定であるが、中央病院の供用開始と併せて完成させます。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、千葉市若葉区にありますJA千葉みらい農産物直売所「しよいか〜ご」を視察しました。

その他、質疑を尽くし慎重審査の結果、4議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。



飯岡中学校移転予定地で説明を受ける文教福祉常任委員

総務常任委員会

6月18日(木)午前10時より本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

ました。

議案第5号財産の取得についての審査では、「災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車とは、どういった災害に対応するのか。また、入札の基準となる設計金額は、どのように積算されたのか。」との

質疑があり「この車両は、通常の火災を含め、あらゆる災害を想定したものである。主なものとしては、給水装置を積載しており、地震等の災害発生時に給水車として使用ができることや、水600リットルと消化剤2リットルを混合させ、泡で消化するシステムが装備されており、約10トン分の水を放水したのと同じ効果が得られるなどの特徴がある。また、車両の設計金額については、2社から見積もりを取り寄せて、それを参考に消防本部で設計をした。」との答弁がありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議会を傍聴しませんか

第3回定例会は9月3日(木)から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子を放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継をしております。ご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎62-5304 Fax62-5384

行政視察報告

議会だより編集委員会

4月15日、議会だよりの編集、発行、全般について、山梨県甲州市議会へ行政視察しました。

「議会広報 甲州」の編集委員会は6名の議員で構成されており、視察当日は、正副委員長ほか編集委員3名に対応していただきました。

当市との相違点は、市民フォーラムやわたしのふるさと、新議長との座談会などといった市民参加のソフトなコーナーを掲載している点や、有料公告を1枠1回2万円で募集している点です。有料公



甲州市役所前にて（議会だより編集委員会）

告はこれまで8回掲載しているが、応募企業が少なく、募集努力をしているそうです。

また、広報内の写真はできるだけ、「人」を載せるように心がけ、表紙の写真は、テーマやシリーズ化するなどの工夫がされており、市民に親しみやすい議会広報を目指しているとのことでした。そのほか、様々な意見交換をし、それぞれに成果をあげ、視察を終えました。

総務常任委員会

5月13日から15日の3日間に渡り、北海道室蘭市、西いぶり広域連合、函館市を行政視察しました。

室蘭市では、新エネルギー事業（入江運動公園太陽光施設）を中心に視察しました。太陽光を環境対策、エコの一つとして実施していました。また、今までの鉄鋼技術を利用して、原子炉の炉心の鍛造や風力エネルギーの羽の製造など、新しいものづくりを必死に考えており、歴史のある、すばらしい街だと感じました。

次に、西いぶり広域連合の西胆振地域廃棄物処理施設を視察しました。公設民営方式で運営する次世代型ごみ処理施設で、可燃ごみを蒸し焼きにして、熱分解固形物と熱分解ガスに分け、固形物からは鉄やアルミミックスを分別、取り出し有効活用し、ガスは燃焼溶融炉で燃やし、



室蘭市役所前にて（総務常任委員会）

蒸気を作って発電等に用いるなど、ごみを持つエネルギーで運用されていました。また、処理施設のエネルギーがプールや体育館など地域住民への還元施設として有効活用されており、参考になりました。函館市では、地域交流まちづくりセンターを視察しました。大正12年建設の丸井今井呉服店函館支店の建物を再利用し、平成19年4月1日に、ノスタルジックな函館西部地区のランドマークとして誕生。市民や観光客に喜ばれる施設、また、利用者の立場にたった対応を心がけており、書類主義でなく、現場主義で柔軟な発想と行動力が印象として残りました。

今回、本市より規模の大きな室蘭市、函館市の施設は、指定管理者制度を導入し管理・運営に民間の力を活用して街の再生、活性化に努力している姿勢が見受けられました。

文教福祉常任委員会

5月19日から21日の3日間、「環境」をテーマに、鹿児島県志布志市、指宿市、かごしま環境未来館を視察しました。

志布志市では、サンサンひまわりプランの概要及び事業効果等について視察しました。志布志市は、焼却炉がなく一般廃棄物をすべて埋立て処分しており、その処理場が平成16年度末で満杯となることから、平成12年度より分別収集に取り組み、全職員で各地区へ出向き指導等を行ない、28品目という当方もない分別が実施され、その結果、一人当たりのごみ処理経費が6225円（全国平均15000円）、再資源化率は72・5％で、全国第4位という事業効果をあげました。また、毎年4月に市内全世帯にひまわりの種を無料配布し、生ごみでひまわりを育て、搾油しています。参加者には、ひまわり油やトイレットペーパーなどと交換できる地域通貨「ひまわり券」を発行して還元していました。この取り組みにより処理場は50年以上処理できることになり、処理経費やごみに対する住民の意識が高められ、市長をはじめとする職員の熱意を感じました。

指宿市では、指宿版家庭環境ISOの概要及び事業効果等について視察しました。この事業は、家庭の生活を見直し、家族みんなが楽しく継続して地球にやさしい暮らしづくりをするために、初級、中級、上級編の3段階に分かれて、それ



志布志市役所前にて（文教福祉常任委員会）

り組み方がそれぞれ違うということ、まずは小さなことでも取り組んでみるということに改めて関心させられました。

建設経済常任委員会

5月20日から22日の3日間に渡り、大分県由布市、九重町、日田市を行政視察しました。

由布市では、地域資源を活かした観光施策についての視察をしました。湯布院地区には、名所旧跡や歓楽街がなく、将来的な展望の中で健康的で若い女性一人でも安心して訪れる観光地づくりを進め、温泉・スポーツ・芸術・文化・自然景観を整え、住民本位の潤える町を目指しました。昭和50年代には、ゆふいん音楽祭、牛喰い絶叫大会などを開催し、文化的な地域イメージを全国に発信し、現在の繁栄に繋がっています。今後の取り組みは、滞在型観光を進めるための観光資源の掘り起こしが問われている現状でした。

九重町では、九重「夢」大吊橋の建設経緯と効果について視察を行いました。「夢」大吊橋は、平成18年10月30日に開通。水面よりの高さ17.3m、長さ390mで、歩行者専用橋としては日本一の高さと長さで、開通が紅葉の時期と重なり入場者は開通から24日後に年間目標の30万人を達成し、平成20年4月4日には300万人を達成。入場料収入も順調で、総事業費約20億円のうち7億3000万円の地域再生事業債は、予定より8年早

く平成20年9月に完済。この吊橋は町の観光振興計画の柱であるが、観光客の町内での滞在時間が短いため、今後は、滞在型の観光地をどう形成していくことなどが課題とのことでした。成果は、財源の確保、雇用の拡大、地元物産品の販売促進や幼児から中学生までの医療費助成制度が実施されており、大吊橋は大成功だったと感じました。

日田市では、バイオマス資源化センター施設を視察しました。市内で約2万頭飼育されている豚のふん尿による畜産公害の解消とともに、焼却ごみの減量やふん尿から放出されていたメタンガスの回収により、地球温暖化防止に寄与し、また、ごみの焼却量の減少に伴い、最終処分場の延命化、焼却コストの削減も図られており、さらに、バイオガスから作ったク



由布市役所湯布院庁舎前にて（建設経済常任委員会）

リーンな電気は施設で利用、余剰分は電力会社へ売却し、残りの消化液から堆肥と液肥を生産して有機農業を推進している施設でした。本稼動より3年経過しているが、安定してバイオガスを作り出すのに苦労しているとのことでした。

編集後記

今回の第2回定例会より、市のホームページで、本会議の様子がライブ中継されました。

また、そのほかに市役所本庁・各支所のロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビでも本会議の様子が放映されています。

市民の皆様には、これから大変喜んでいただけるのではないかと思います。

私も、編集委員をさせていただき、3年半が過ぎました。その間、少しでも読みやすく分かりやすい紙面づくりに努力してまいりました。

任期も残すところ、あと4か月となりましたが、分かりやすい議会だよりづくりに一生懸命頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（副委員長・伊藤 房代）

旭市議会だより編集委員会

委員長	林 七巳
副委員長	伊藤 房代
委員	木内 欽市
委員	嶋田 哲純
委員	伊藤 保